



日仏協力会議で仏政府関係者・仏航空関連企業と意見交換会を実施

航空機産業の振興に向けて、毎年、経済産業省とフランス民間航空総局（DGAC）との間で協力会議が開催されており、2025年は当該会議の企業視察の一環として、10月30日に当社の本社尼崎工場に関係者を招き、工場見学および意見交換会を実施しました。

日本側からは経済産業省航空機武器産業課、フランス側からは DGAC や在日フランス大使館の政府関係者に加えて、GIFAS(フランス航空宇宙工業会)、AIRBUS 社、SAFRAN 社などのフランス航空関連企業が来訪され、当社からは川福代表取締役社長以下チタン事業の関係者が参加しました。

チタンは、フランスにおいても安全保障上の戦略物資に指定されており、航空機需要の成長とともに使用量が増えていく事が見込まれています。

当社からは、フランス航空機産業の成長への強い期待を抱きつつ、日本政府の支援により実行中のスポンジチタンの生産能力増強工事（※）を遅滞なく完遂させ、高品質のチタンスポンジの安定供給を通じて、世界の航空機産業の成長に貢献する役割を担っていくことを表明し、今後も日仏航空機産業の連携を深めていくことで参加者の意見が一致しました。



※当社のスポンジチタン生産能力増強投資の計画概要

項目	内容
生産能力増強規模	現行 40,000トン/年 → 増強後 50,000トン/年 (10,000トン/年の能力増強)
完工時期	2027年度末迄の完工を目標とする
投資額	約330億円
立地場所	本社尼崎工場